

総行政第67号  
令和2年4月20日

各都道府県知事  
各指定都市市長 } 殿

総務大臣  
(公印省略)

### 特別定額給付金（仮称）事業の実施について

本日、「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」（令和2年4月20日閣議決定）が閣議決定され、感染拡大防止に留意しつつ、簡素な仕組みで迅速かつ的確に家計への支援を行うため、特別定額給付金（仮称）事業が実施されることになり、総務省に特別定額給付金実施本部を設置いたしました。

この事業の概要は下記のとおりであり、市区町村の実施する給付事業を対象とし、国が補助金（補助率 10/10）を交付するという方式としているところでありますので、地方公共団体の御協力が必要です。

具体的な実施方式については、早急に検討を進めているところですが、地方公共団体の御意見をお聞きしながら、できる限り市区町村の事務負担の少ない簡素な仕組みにより実施できるように努めますので、全国全ての人々に可能な限り迅速かつ的確に給付金をお届けできるよう、早急に各市区町村における住民基本台帳に係るシステム改修等の事前準備に着手していただくとともに、各市区町村の令和2年度補正予算の早期成立に御尽力いただくようお願い申し上げます。

本通知の趣旨については、貴都道府県内の市区町村に対しても、御連絡いただくようお願い申し上げます。

### 記

#### 1 施策の目的

「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」（令和2年4月20日閣議決定）において、「新型インフルエンザ等対策特別措置法の緊急事態宣言の下、生活の維持に必要な場合を除き、外出を自粛し、人と人との接触を最大限削減する必要がある。医療現場をはじめとして全国各地のあらゆる現場で取り組んでおられる方々への敬意と感謝の気持ちを持ち、人々が連帯して、一致団結し、見えざる敵との闘いという国難を克服しなければならない。」と示され、このため、感染拡大防止に留意しつつ、簡素な仕組みで迅速かつ的確に家計への支援を行う。

#### 2 事業の実施主体と経費負担

- ・実施主体は市区町村
- ・実施に要する経費（給付事業費及び事務費）について、国が補助（10/10）

### 3 給付対象者

基準日（令和2年4月27日）において住民基本台帳に記録されている者

### 4 給付額

給付対象者1人につき10万円

### 5 受給権者

住民基本台帳に記録されている者の属する世帯の世帯主

### 6 感染拡大防止の観点からの給付金の申請と給付の方法

- ・市区町村は、受給権者に対し、給付金の申請に当たり必要となる申請書を郵送。
- ・申請方法は、
  - ① 申請書類の郵送
  - ② 国において整備する受付システムを通じマイナンバーカードを活用して行うオンライン申請を基本とし、広報によりその旨を周知。なお、やむを得ず窓口で申請受付を行う場合には、受付窓口の分散や消毒薬の配置といった感染拡大防止策を徹底。
- ・給付は、原則として申請者の本人名義の銀行口座への振込みとする。

### 7 給付開始日

市区町村において決定（緊急経済対策の趣旨を踏まえ、可能な限り迅速な給付開始を目指すものとする）

### 8 その他

- (1) 上記6の①の申請書類の作成に必要な住民基本台帳に係るシステム改修の事前準備については、特に御留意をお願いする。
- (2) 上記に伴い、「生活支援臨時給付金（仮称）事業の実施について」（令和2年4月9日総行政第55号総務大臣通知）は、廃止する。

事務連絡  
令和2年4月20日

各都道府県特別定額給付金担当部長  
各指定都市特別定額給付金担当局長 } 殿

総務省自治行政局地域政策課  
特別定額給付金室長

### 特別定額給付金（仮称）事業に係る留意事項について

本日、「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」（令和2年4月20日閣議決定）が閣議決定され、感染拡大防止に留意しつつ、簡素な仕組みで迅速かつ的確に家計への支援を行うため、特別定額給付金（仮称）事業が実施されることになりました。

また、令和2年度補正予算（第1号）案が閣議決定され、この補正予算案には、全国の市区町村を事業主体とする特別定額給付金（仮称）事業について、給付金額の総額及び給付に要する事務費が計上されているところです。同事業の補助金交付要綱の策定は今後であります。さしあたり現段階において留意すべき事柄について下記のとおり御連絡します。

また、貴都道府県内の市区町村に対しても速やかにその趣旨を御連絡いただくようお願い申し上げます。

なお、本通知は地方自治法（昭和22年法律第67号）第245条の4（技術的助言）に基づくものです。

### 記

#### 第1 国の補正予算

本日、政府は令和2年度補正予算（第1号）案を閣議決定したこと。

今回の補正予算案においては、特別定額給付金（仮称）を給付するために必要な経費12兆8,802億93百万円（給付事業費12兆7,344億14百万円、事務費1,458億79百万円）を計上していること。

#### 第2 補正予算案の内容

##### 1 給付事業費

給付事業費については、次により計上していること。

##### ○給付対象者

基準日（令和2年4月27日）において住民基本台帳に記録されている者

##### ○給付額

給付対象者1人につき10万円

## 2 事務費

特別定額給付金（仮称）事業に係る事務費については、所要経費を国の補正予算案に計上していること。

なお、給付に要する事務経費については、特別定額給付金（仮称）給付事務費補助金の交付決定前に執行した経費であっても、「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」（令和2年4月20日閣議決定）を受けて開始された特別定額給付金給付の事務に係るものであれば、特別定額給付金給付事務費補助金の対象となること。

## 第3 予算の科目

特別定額給付金（仮称）事業は、国庫補助事業として実施することから、市区町村において、適切な方法で区分経理を行い、歳入歳出を処理すること。当該事業に係る歳出予算のうち、給付金額分を計上する節は、第18節「負担金、補助及び交付金」が適当であると考えられること。

## 第4 市区町村における準備及び予算の早期成立

市区町村においては、特別定額給付金を可能な限り迅速かつ的確に給付する趣旨から、直ちに、実施組織を設置し、当初予算で計上されている既定の予算額も活用し、システム改修や印刷・郵送等の準備に着手していただきたいこと。

また、国の補正予算の成立時期にかかわらず、市区町村の補正予算の早期の編成・成立に向けて、手続きを進めていただきたい。

## 第5 その他

本通知以外の事項については、今後、申請者や市区町村の事務負担を考慮して、できる限り簡素な仕組みとなるよう留意しつつ検討を進め、固まり次第、順次連絡するので、参考にされたい。

なお、「生活支援臨時給付金（仮称）事業に係る留意事項について」（令和2年4月9日事務連絡）は、廃止する。

(担当)

総務省自治行政局地域政策課

特別定額給付金室

鳴田・中村

電話：03-5253-5233

E-mail：s.naruta@soumu.go.jp

m3.nakamura@soumu.go.jp